

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	テクノス新本社建設工事	階数	地上7F
建設地	兵庫県姫路市北条	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条区域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年4月 予定	評価の実施日	2020年11月8日
敷地面積	2,429 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	1,123 m <sup>2</sup>	確認日	2020年11月8日
延床面積	3,091 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> ・建物利用者が機能的で長期にわたり利用できるような計画とした。 ・十分な執務スペースを確保し屋上テラスを設けることで、快適な執務環境を計画した。		<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b> ・開口部のサッシュ等の遮音性能の向上。 ・外壁、屋根や床に室内環境を考慮した断熱材の使用。 ・ブラインド、庇を設置することで日射遮蔽を行う。 ・執務スペースでの机上面において、適切な照度を確保	<b>Q2 サービス性能</b> ・十分な執務スペースを確保。 ・社員がリフレッシュスペースとして利用可能な屋上テラスを設置。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・隣地に接する部分に植栽スペースを設けることで、周辺に配慮。
<b>LR1 エネルギー</b> ・開口部における省エネルギー性の高い複層ガラスを採用。(高性能熱線反射ガラス・Low-Eガラス) ・外壁、屋根等における断熱性の高い工法・資材等を採用。(現場発砲ウレタン吹付)	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・節水型便器・手洗の採用。 ・自動水栓の採用。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・自転車の利用を見込んだ自転車置き場の設置。 ・適切な台数の駐車スペースの確保。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される